

国道254号和光富士見バイパス（志木市区間）

道路の基本構造を平面4車線に決定

1 バイパスの計画概要

○整備目的

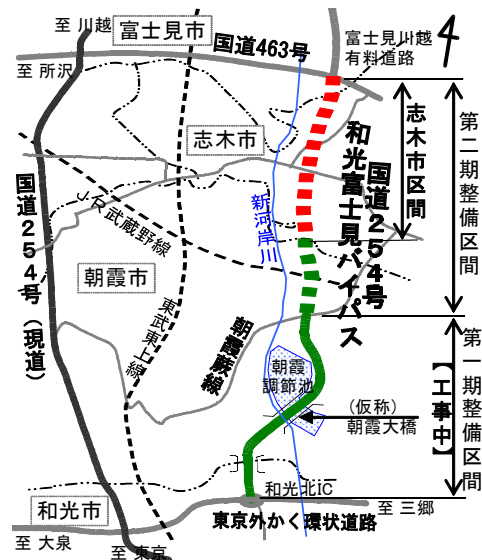
- ・ 県南西部の幹線道路網を強化することで、国道254号（現道）の混雑緩和と交通安全の向上、並びに地域の振興を図る。

○計画延長

- ・ 約6.9 km
- ・ 第一期整備区間：約2.6 km
- ・ 第二期整備区間：約4.3 km

○現在の計画幅員・道路構造

- ・ 幅員 36～42m
- ・ 高架構造 8車線（高架4車線・平面4車線）



2 検討経緯

○和光市～朝霞市の区間（第1期整備区間）を平成21年度末の開通を目指し、暫定2車線で整備を進めている。

○この道路は、昭和46年から55年にかけて、高架構造8車線（高架4車線・平面4車線）の道路として都市計画決定されている。

○この計画については、社会・経済情勢の変化に伴い、時代に適した道路構造の見直しが必要となってきた。

○特に、第2期整備区間のうち、志木市区間では、市街地に隣接することから、まちづくりや沿道環境に配慮した道路構造とするよう求められている。

○そこで、平成17年度から調査（地質、環境調査、交通解析など）を進めた結果、バイパスが通る宗岡地区は地層が軟弱で、地下水位が浅く、流域下水道の本管など大規模地下埋設物が存在していることなどが判明した。

○この調査結果を踏まえ、志木市を中心とする区間の道路構造（平面・高架・地下）の比較検討を行ってきた。

3 道路の基本構造の決定

○道路構造の決定に当たっては、地元説明会、アンケート調査、意見募集を平成19年11月から12月にかけて実施するなど幅広く志木市民の意見を求めた。

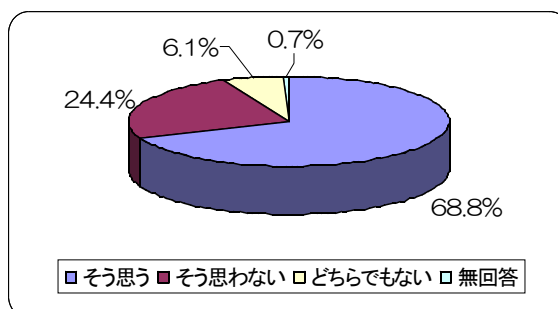
■アンケート調査

対象者：志木市民（住民基本台帳から無作為抽出2,000人、20歳以上）
回収率：28.9%

（設問）

・あなたは「平面案」が優れていると思いますか？

- 1 そう思う (68.8%)
- 2 そう思わない (24.4%)
- 3 どちらでもない (6.1%)



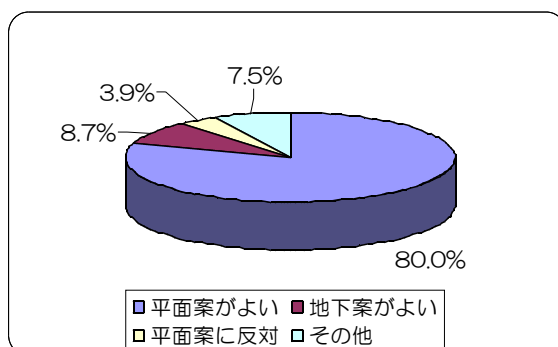
■意見募集

対象者：志木市在住の者
回答者：335名

（依頼主旨）

・国道254号バイパスの整備にあたり、県が行った道路構造の比較検討案について意見を伺います。

- 1 平面案がよい (80.0%)
- 2 地下案がよい (8.7%)
- 3 平面案に反対 (3.9%)



○この度、これら市民の意見などを踏まえ、下記の理由により

国道254号和光富士見バイパスの基本構造を「平面4車線」

とすることとした。

【理由】

- ・最新の将来交通量の推計結果から4車線で対応可能であること
- ・環境調査の結果から沿道環境に対しても平面構造で十分対応可能であること
- ・歩道整備、水害対策などの地元のまちづくりや地域振興を図るためには平面構造が最適であること
- ・平面構造は経済性に優れ最も早く完成することが可能であること

（建設費：平面構造 約25億円、高架構造 約190億円、地下構造 約460億円）

4 今後の取り組み方針

○平面4車線の道路構造を基本とし、住民参加のもと、地元志木市と連携して、具体的な道路設計を行い、早期の完成を目指す。